

都市再生整備計画(第4回変更)

ひでや
日出谷地区

さいたま おげがわし
埼玉県 桶川市

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	さいたまけん 埼玉県	市町村名	おけがわし 桶川市	地区名	ひでやちく 日出谷地区	面積	380 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 26 年度				

目標							
大目標: 都市基盤の早期整備を図り、誰もが明るく笑顔で暮らせる、安心安全なまちづくり							
目標1	住民が住んで良かったと思える住環境整備を促進し、地域内人口(世帯)の増加を目指す。						
目標2	幹線道路や狭隘道路の整備を進め、歩行者や自転車、緊急車両等の円滑な通行を確保する。						
目標3	防災体制の充実や防災施設整備を着実に推進するとともに、防災意識の高揚を図る。						

目標設定の根拠							
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市は都心より40kmという通勤圏に位置するため、特に経済成長期には民間投資による開発が進み、人口の増加とスプロール化が顕著であった。 当地域では、都市基盤整備・優良な住宅地供給を目的とした土地区画整理事業が施行され、まちづくりを推進している(下日出谷西区画S61~H20年度(完了)、上日出谷南区画S62~H31年度(78.7%)、下日出谷東区画H4~H33年度(32.7%))。※(%)表示は、平成20年度末の総事業費進捗率。 下日出谷東特定土地区画整理事業においては、平成19年度に事業エリアを縮小し、新たな計画の下で事業を進めている。 平成21年度末に首都圏中央連絡自動車道桶川北本ICの供用開始が予定されており、アクセス道路として、下日出谷東区域のほぼ中央を東西に通る県道川越栗橋線(滝の宮線)の整備も同時に進められている。 上日出谷南区域では、区域中央にスーパーマーケットやコンビニエンスストアが出店営業し、また、事業により完成した区域内を路線バスが運行するなどして地区の利便性が高まっているものの、まだ、未整備箇所も多く点在している。 当区域内には老朽化や4mに満たないため安全な通行が危ぶまれる道路が多数存在している。 							
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 上日出谷南特定土地区画整理事業に伴う雨水抑制施設(調整池)については、財政的事情から事業を一時中断しているが、区画整理事業完了までに完成させなければならない。 上日出谷南区域内にある日出谷保育保所については、老朽化が進み、敷地が手狭まとなっており、より安全な保育を確保するため、新たな施設の整備が必要となっている。 下日出谷東特定土地区画整理事業のエリア縮小に伴い、区域外となった住民から狭隘道路の解消及びインフラ整備の要望があり、早期整備が必要とされる。 道路整備だけでは交通事故を防ぐことが困難であるため、交通弱者を対象として地域の道路事情に合った交通安全教室等の実施が必要とされる。 区画整理施行途中のため、通学路にもかかわらず安全が確保されていない箇所があるため早期の整備が必要である。 災害に強いまちづくりを進めるために、避難路や輸送路を確保するための道路拡幅、オープンスペース等の都市防災施設の整備が重要な課題である。 							
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の生活環境を快適にするために、用途地域制度、地区計画等の都市計画を活用するとともに、土地区画整理事業を着実に推進して、安心して住み継ぐことのできる良好な住環境の形成を進める。(第四総合振興計画) 広域間を移動する通過交通と地域の交通が混在しないよう、広域幹線道路、地域幹線道路、生活道路等からなる道路の機能分担の明確化を図り、安全・快適に暮らせる生活環境確保に十分配慮した道づくりを推進する。(第四次総合振興計画) 市民の生命と財産を守るために地域防災計画を整備充実させ、防災施設の整備を進め防災体制の充実に努める。(第四次総合振興計画) 団地開発やミニ開発による宅地化が先行したため、一般的に団地内道路と周辺道路との連絡が良好でないことから、生活環境整備の方向性として基盤整備が不十分な団地周辺を区画整理事業によって整備改善し、連絡をよくするとともに生活道路や公共下水道等を計画的に整え、適正な建物の配置や宅地面積の誘導等、基盤整備後のきめ細やかなまちなみの誘導を図る。(都市計画マスタープラン) 災害に強い都市基盤づくりを進めるとともに、日常生活の充実が非常時の備えにもなるよう、緑豊かな環境づくりや地域コミュニティ形成にあたり、災害への備えを考慮する。(都市計画マスタープラン) 							

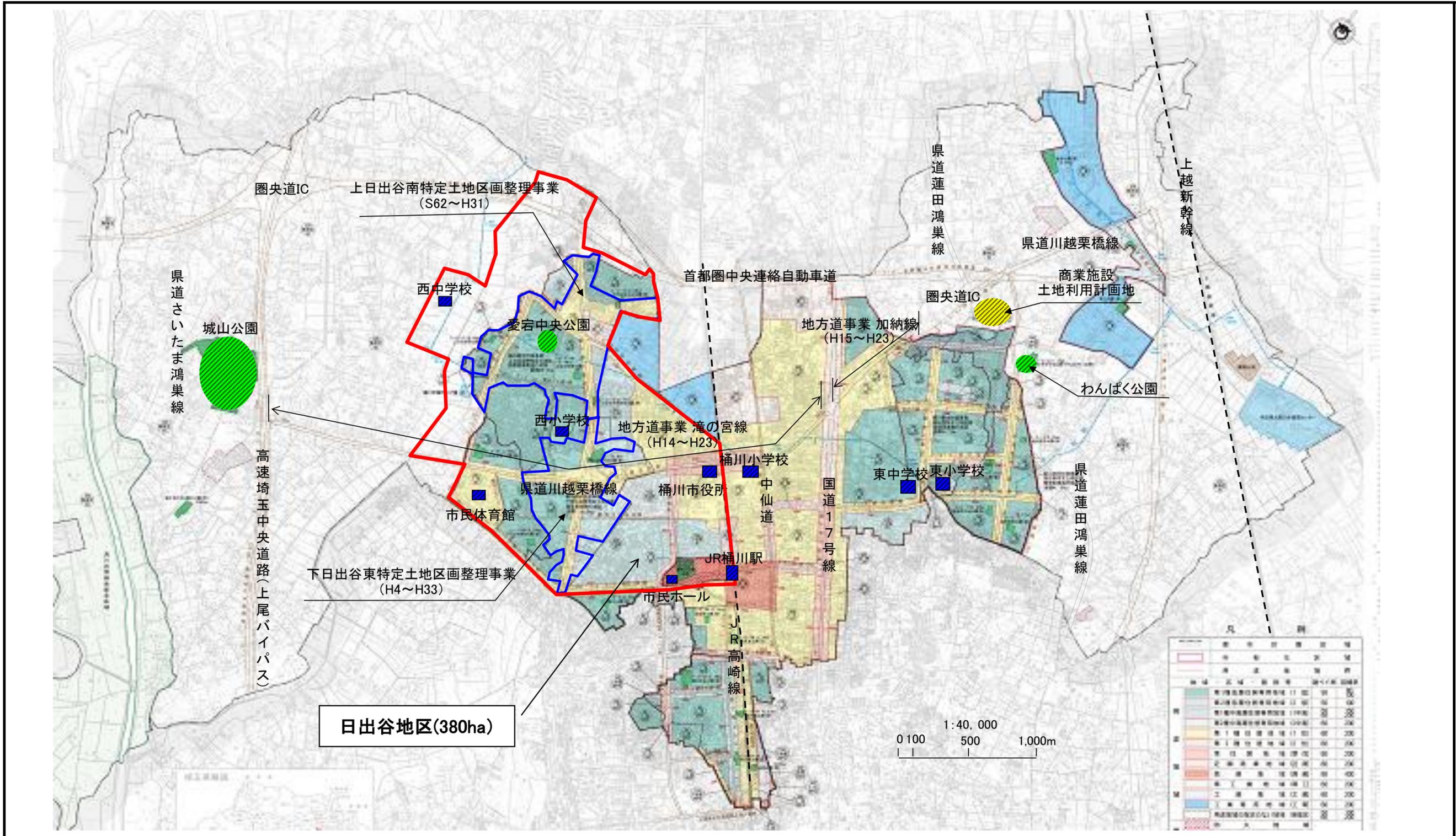
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
世帯数	世帯	上日出谷、下日出谷、下日出谷西区域(区画整理事業地内)における世帯数	住環境の整備により、新市街地における世帯の増加を目指す(直近5年間の世帯及び人口の増加率を勘案し、従前値の106%を目標値に設定)	6,165	H21	6,550	H26
緊急車両の通行可能路線数	本	区画整理事業地内の緊急車両が通行可能な道路の本数(6m以上の整備する道路本数)	災害時等における緊急車両の通行可能道路や避難経路を確保することにより、防災に強い安全なまちづくりを目指す(区画整理事業計画における6m以上の区画道路について、30本の整備を目標値に設定)	90	H21	120	H26
交通事故発生件数	件	地区内の交通事故の発生件数(地区全域の交通事故による救急車の出動件数)	歩道・車道、交通安全施設の整備により、事故のない安全なまちづくりを目指す(直近5年間の減少率を上回る15%減少を目標値に設定)	62	H21	53	H26

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（生活基盤施設を中心とした住環境の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業による道路や上下水道、都市ガス等の基盤整備、既設道路の改良整備を実施し、生活環境の向上、新規住宅用地を創出し、人口の定着、新規住民の誘致を図る。 ・既存道路の老朽化が進んでおり、安全な歩行、通行が損なわれないように、整備や改良を行う。 ・殿山地域に残る緑地(既存林)を公園として整備し、地区住民の憩いの場を永久的に確保するとともに、圏央道の緩衝地帯とする。 ・利用者に配慮した施設環境の改善など、住民の健康増進やスポーツ・レクリエーション活動など生涯学習の場である市民体育館の改修を行なう。 	<p>【基幹事業】 泉2丁目三越団地 市道61-3号線他1路線 4039・4432号線他6路線 3415号線 3179号線 4044・4045号線 土地区画整理事業(上日出谷南組合、下日出谷東組合)</p> <p>【提案事業】 日出谷保育所整備事業 組合区画整理推進助成事業 桶川サン・アリーナ改修事業 西側大通り線第2工区調査事業</p>
<p>整備方針2（地域防災の安全・強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急車両の進入が困難な地域については、「防災活動困難地域の解消」という観点から、4mに満たない道路や行き止まり道路を無くし、災害時の緊急車両の進入道路や避難道路を確保する。 ・災害時の避難場所となる公園や浸水や冠水防止のための調整池を整備し、安全なまちづくりを進める。 ・指定避難所である小中学校等の防災備蓄設備について、未整備箇所に防災備蓄倉庫を新設し、備蓄拠点の分散に努める。 ・防災活動拠点を担う市民体育館の防災機能設備を整備し、災害対策の充実を図る。 	<p>【基幹事業】 泉2丁目三越団地 市道61-3号線他1路線 4039・4432号線他6路線 3415号線 3179号線 4044・4045号線 防災倉庫整備事業 土地区画整理事業(上日出谷南組合、下日出谷東組合)</p> <p>【提案事業】 桶川サン・アリーナ改修事業</p>
<p>整備方針3（安心して子育てのできる環境づくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進む保育所を区画整理事業による移転に伴い、多様な保育ニーズに対応できるよう新築し充実を図る。 ・うるおいとやすらぎをもたらす、近隣の人たちの憩いの場としての空間づくりとして、公園の整備を進める。 ・交通安全対策を進め、歩行者や自転車等の交通量の多い生活道路の整備を促進し、交通弱者の事故防止を図る。 	<p>【基幹事業】 土地区画整理事業(上日出谷南組合、下日出谷東組合)</p> <p>【提案事業】 日出谷保育所整備事業</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 区画整理事業における連携 下日出谷東地区は、東西に滝の宮線、南北に西側大通り線が計画され、交通の結節点となるべく事業を進めている。 日出谷地区内の土地区画整理事業は、中央部に下日出谷東区域、北側に上日出谷南区域、西側に下日出谷西区域があり、早期に計画的に整備をすることによって3つの区画整理事業区域の魅力がより引き立つものとなる。 ○ 国、県による事業 川田谷地区においては、圏央道関連事業として、県道滝の宮線の整備が既に完了しており、併せて国道上尾道路の整備も着々と進み、道路交通網の整備による更なる利便性の向上が見込まれる。 ○ 交通安全対策事業（関連事業） 交通安全対策として、既存事業である「交通安全運動」により、地域の変化(道路の新設・拡幅、通過車両の増加・速度等)への対応など住民の安全意識の向上のため、地域や年代を限定するなど重点的なキャンペーンやイベントを実施する。 また、毎年度、「交通安全教室」(小学校)、「高齢者交通安全教室」「高齢者自転車運転免許講習実技」(高齢者対象)、「街頭キャンペーン」(全市民対象)を実施しており、子供や高齢者を中心とした交通安全事業を継続する。 ○ 市道整備事業（関連事業） 下日出谷東特定土地区画整理事業の区域変更に伴い除外された地域について、未整備道路等の早期整備を実施する。 ○ 市民体育館整備事業（関連事業） 下日出谷西地内の市民体育施設である桶川サン・アリーナについて、酷暑対策の空調設備新設、トイレの洋式化等、施設の環境改善を図るため、改修工事を実施する。 	

都市再生整備計画の区域

<p>日出谷地区(埼玉県桶川市)</p>	<p>面積 380 ha</p>	<p>区域 桶川市 泉一丁目・下日出谷西一丁目・下日出谷西二丁目・下日出谷西三丁目・鴨川一丁目・大字上日出谷・大字下日出谷、泉二丁目・若宮一丁目・大字川田谷の一部</p>
----------------------	------------------	---



日出谷地区(埼玉県桶川市) 整備方針概要図

(第4回変更)

目標	都市基盤の早期整備を図り、誰もが明るく笑顔で暮らせる安心安全なまちづくり	代表的な指標	世帯数 (世帯)	6,165 (H21年度) →	6,550 (H26年度)
			緊急車両の通行可能路線数 (本)	90 (H21年度) →	120 (H26年度)
			交通事故発生件数 (件)	62 (H21年度) →	53 (H26年度)

